

ヨハネの手紙第一

¹初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見たもの、じっと見つめ、手で触れたもの、すなわち命のことばについて、

²その命は現されました。私たちはそれを見て、あかしし、あなたがたに告げ知らせます。すなわち、父とともにあり、私たちに現された永遠の命です。

³私たちが見、また聞いたものを、あなたがたにも告げ知らせます。それは、あなたがたも私たちと交わりを持つためです。しかも、私たちの交わりは、父とその御子イエス・キリスト*との交わりです。

⁴私たちがこれらのことを書くのは、私たちの喜びが満ちるためです。

⁵私たちがその方から聞き、あなたがたに告げ知らせる知らせは、神は光であり、神のうちには闇が少しもないということです。

⁶神と交わりがあると言いながら闇の中を歩むなら、私たちは偽りを言い、真実を語ってはいません。

⁷しかし、神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩むなら、私たちには互いの交わりがあり、その御子イエス・キリストの血が、すべての罪から私たちを清めます。

⁸自分には罪がないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。

* 1:3 1:3 「キリスト」は「油を注がれた者」という意味である。

9 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、私たちの罪を赦し、すべての不義から清めてくださいます。

10 罪を犯したことがないと言うなら、私たちは神を偽り者とすることになり、そのことばは私たちのうちにありません。

2

1 私の子どもたちよ、あなたがたが罪を犯さないように、私はこれらのことを書きます。しかし、それだけが罪を犯しても、私たちには父のもとに弁護者*

がおられます。義なる方、イエス・キリストです。

2 この方こそ、私たちの罪を贖ういけにえ†です。私たちの罪だけでなく、全世界の罪のためのいけにえです。

3 その戒めを守っているなら、それによって私たちは、この方を知っていると分かります。

4 「私はこの方を知っている」と言いながら、その戒めを守らない人は偽り者であり、その人のうちに真理はありません。

5 しかし、この方のことばを守る人のうちでは、神の愛がまことに全うされています。それによって、私たちがこの方のうちにいることが分かります。

6 この方のうちにとどまっていると言う人は、この方が歩まれたように、自らも歩むべきです。

7 兄弟たち、私があなたがたに書いているのは、新しい戒めではなく、あなたがたが初めから持って

* **2:12:1** ギリシャ語の παρακλητον は、「助言者」「助け主」「仲裁者」「弁護者」「慰め手」

† **2:22:2** 「罪を贖ういけにえ」はギリシャ語の ιλασμος から来ており、神の怒りをなだめるための犠牲

いた古い戒めです。その古い戒めとは、あなたがたが初めから聞いていたことばです。

8 また、私はあなたがたに新しい戒めを書いていきます。この戒めは、この方においても、あなたがたにおいても真実です。闇は過ぎ去りつつあり、まことの光がすでに輝いているからです。

9 光の中にいると言いながら自分の兄弟を憎む人は、今もなお闇の中にいます。

10 自分の兄弟を愛する人は光の中にとどまり、その人には、つまずきとなるものはありません。

11 しかし、自分の兄弟を憎む人は闇の中にいて、闇の中を歩み、自分がどこへ行くのか分かりません。闇がその目をくらませたからです。

12 子どもたちよ、私があなたがたに書くのは、その御名のゆえに、あなたがたの罪が赦されているからです。

13 父たちよ、私があなたがたに書くのは、初めからおられる方をあなたがたが知っているからです。

若者たちよ、私があなたがたに書くのは、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。

子どもたちよ、私があなたがたに書くのは、あなたがたが父を知っているからです。

14 父たちよ、私があなたがたに書いたのは、初めからおられる方をあなたがたが知っているからです。

若者たちよ、私があなたがたに書いたのは、あなたがたが強く、神のことばがあなたがたのうちにとどまり、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。

15 世も、世にあるものも愛してはいけません。世を愛する人のうちには、父の愛がありません。

16 世にあるすべてのもの、すなわち肉の欲、目の欲、この世のものを誇る心は、父から出たものではなく、世から出たものだからです。

17 世とその欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う人は永遠にとどまります。

18 子どもたちよ、今は終わりの時です。反キリストが来るとあなたがたが聞いていたとおり、今や多くの反キリストが現れています。このことによって、今が最後の時だと分かります。

19 彼らは私たちのもとから出て行きましたが、私たちに属してはいませんでした。もし属していたなら、私たちとともにとどまっていたはずです。しかし彼らが出て行ったのは、そのだれも私たちに属していないことが明らかになるためでした。

20 しかし、あなたがたは聖なる方から油を注がれており、皆、知識を持っています。‡

21 私があなたがたに書いたのは、真理を知らないからではありません。あなたがたが真理を知り、また、どんな偽りも真理から出るものではないと知っているからです。

22 偽り者とは、イエスがキリストであることを否定する者のほかに、だれでしょう。この者こそ反キリスト、父と御子を否定する者です。

23 御子を否定する者は、父を持っていません。御子を告白する者は、父をも持っています。§

24 ですから、あなたがたは、初めから聞いたことを自分のうちにとどめなさい。それがあなたがたのうちにとどまるなら、あなたがたも御子と父のうちにとどまります。

‡ 2:20 2:20 別訳「真実なことを知っています」、または「すべてのことを知っています」

§ 2:23 2:23 多数本文は「御子を告白する者は、父をも持っています」を省いている。

25 これこそ、この方が私たちに約束してくださったもの、永遠の命です。

26 あなたがたを惑わそうとする者たちについて、私はこれらのことを書きました。

27 あなたがたについて言えば、この方から受けた油注ぎがあなたがたのうちにとどまっているので、だれかに教えてもらう必要はありません。その油注ぎが、すべてのことについてあなたがたを教えます。それは真実であって、偽りではありません。それが教えたとおり、あなたがたはこの方のうちにとどまるでしょう。

28 さあ、子どもたちよ、この方のうちにとどまりなさい。そうすれば、この方が現れるとき、私たちは確信を持ち、その来臨の時にも御前で恥じることがありません。

29 この方が正しいと知っているなら、義を行う者は皆、この方から生まれたことも分かります。

3

1 父が私たちにどれほど大きな愛を与えてくださったか、考えてみなさい。私たちは神の子どもと呼ばれるのです。このため、世は私たちを知りません。世は父を知らなかったからです。

2 愛する者たち、私たちは今、神の子どもです。私たちがどのようになるかは、まだ明らかにされていません。しかし、この方が現れるとき、私たちはこの方に似た者になると分かっています。ありのままのこの方を見るからです。

3 この望みをこの方に置く人は皆、この方が清いように、自分を清くします。

4 罪を犯す人は皆、不法を行っています。罪とは不法です。

5 あなたがたが知っているとおりに、この方が現れたのは私たちの罪を取り除くためであり、この方のうちに罪はありません。

6 この方のうちにとどまる人はだれも、罪を犯しません。罪を犯す人はだれも、この方を見たことも、知ったこともありません。

7 子どもたちよ、だれにも惑わされてはいけません。この方が正しいように、義を行う人も正しい者です。

8 罪を犯す人は悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の御子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼすためです。

9 神から生まれた人はだれも、罪を犯しません。神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれているので、罪を犯すことができません。

10 神の子どもと悪魔の子どもは、このことによって明らかになります。義を行わない人は神から出た者ではありません。自分の兄弟を愛さない人も同じです。

11 私たちが互いに愛し合うべきだということ——これが、あなたがたが初めから聞いていた知らせです。

12 悪い者から出たカインのようであってははいけません。カインは自分の兄弟を殺しました。なぜ殺したのでしょうか。自分の行いが悪く、兄弟の行いが正しかったからです。

13 私の兄弟たち、世があなたがたを憎んでも、驚いてはいけません。

14 私たちは、死から命へ移ったことを知っています。兄弟たちを愛しているからです。兄弟を愛さない人は、死のうちにとどまっています。

15 自分の兄弟を憎む人は皆、人殺しです。人殺しのうちには永遠の命がとどまっていないことを、あなたがたは知っています。

16 この方が私たちのために命を捨ててくださったことによって、私たちは愛とは何かを知りました。ですから、私たちも兄弟たちのために命を捨てるべきです。

17 しかし、この世の財産を持ちながら、困っている兄弟を見ても、その人に対してあわれみの心を閉ざすなら、どうして神の愛がその人のうちにとどまるのでしょうか。

18 私の子どもたちよ、ことばや口先だけではなく、行いと真実をもって愛しましょう。

19 それによって、私たちが真理から出た者であることが分かり、神の御前で自分の心を納得させることができます。

20 たとえ自分の心が私たちを責めても、神は私たちの心よりも大きく、すべてのことをご存じだからです。

21 愛する者たち、自分の心が私たちを責めないなら、私たちは神に対して確信を持てます。

22 そして、願い求めるものは何でも神から受けまします。私たちが神の戒めを守り、御前で喜ばれることを行っているからです。

23 神の戒めとは、その御子イエス・キリストの御名を信じ、神が命じられたとおりに、互いに愛し合うことです。

24 神の戒めを守る人は神のうちにとどまり、神もその人のうちにとどまります。神が私たちに与えてくださった聖霊によって、神が私たちのうちにとどまっておられることが分かります。

4

1 愛する者たち、すべての霊を信じてはいけませ

ん。その霊が神から出たものかどうかを吟味しなさい。多くの偽預言者が世に出て来ているからです。

² 神の霊は、こうして見分けられます。イエス・キリストが肉体をもって来られたと告白する霊は皆、神から出ています。

³ イエス・キリストが肉体をもって来られたと告白しない霊は皆、神から出たものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたは、それが来ると聞いていましたが、今すでに世に来ています。

⁴ 子どもたちよ、あなたがたは神から出た者であり、彼らに打ち勝っています。あなたがたのうちにおられる方は、世にいる者よりも偉大だからです。

⁵ 彼らは世から出た者です。そのため、世のことを語り、世も彼らの言うことを聞きます。

⁶ 私たちは神から出た者です。神を知る人は私たちの言うことを聞きます。神から出ていない人は聞きません。このことによって、真理の霊と迷いの霊を見分けることができます。

⁷ 愛する者たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているからです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。

⁸ 愛さない人は神を知りません。神は愛だからです。

⁹ 神は、ただひとりの御子*を世に遣わしてくださいました。その方によって私たちが生きるためです。このことによって、神の愛が私たちのうちに現されました。

¹⁰ 愛とは、私たちが神を愛したことではなく、

* 4:9 4:9 直訳では「ただひとり生まれた」。この表現は、ギリシャ語のμονογενήςから来

神が私たちを愛し、私たちの罪を贖ういけにえ[†]として御子を遣わしてくださったことです。

11 愛する者たち、神がこのように私たちを愛してくださったのなら、私たちも互いに愛し合うべきです。

12 いまだかつて、神を見た人はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにとどまり、その愛が私たちのうちで全うされます。

13 神がご自分の聖霊を私たちに分け与えてくださったことによって、私たちが神のうちにとどまり、神も私たちのうちにとどまっておられることが分かります。

14 私たちは、父が御子を世の救い主として遣わされたのを見て、あかししています。

15 イエスが神の御子であると告白する人はだれでも、神がその人のうちにとどまり、その人も神のうちにとどまります。

16 私たちは、神が私たちに抱いておられる愛を知り、信じています。神は愛です。愛のうちにとどまる人は神のうちにとどまり、神もその人のうちにとどまります。

17 このように、愛は私たちの間で全うされ、裁きの日にも私たちは確信を持てます。この方がそうであるように、私たちもこの世にあって、この方のような者だからです。

18 愛には恐れがありません。全うされた愛は恐れを締め出します。恐れは罰を伴うからです。恐れる人は、愛において全うされていません。

19 神がまず私たちを愛してくださったので、私た

[†] **4:10 4:10** 「罪を贖ういけにえ」はギリシャ語の *ἱλασμος* から来ており、神の怒りをな

ちは神を愛します。[‡]

20 「私は神を愛している」と言いながら自分の兄弟を憎む人がいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛さない人が、目に見えない神を愛することはできないからです。

21 神を愛する人は自分の兄弟をも愛するべきです。これが、私たちが神から受けている戒めです。

5

1 イエスがキリストであると信じる人は皆、神から生まれています。父を愛する人は、その方から生まれた者をも愛します。

2 神の子どもたちを愛していると分かるのは、私たちが神を愛し、その戒めを守るときです。

3 神を愛するとは、その戒めを守ることです。その戒めは重すぎるものではありません。

4 神から生まれた者は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝った勝利、それはあなたがたの信仰です。

5 世に打ち勝つ者とは、イエスが神の御子であると信じる人のほかに、だれでしょう。

6 この方こそ、水と血によって来られたイエス・キリストです。水によってだけでなく、水と血によって来られました。そして、聖霊があかししています。聖霊は真理だからです。

7 あかしするものが三つあります。^{*}

8 聖霊と水と血です。この三つは一致しています。

[‡] **4:194:19** ネストレ・アーラント／聖書協会共同本文は「神を」を省いている。

^{*} **5:75:7** ごく少数の後代の写本だけが、次の文を加えている。「天において、父とこと

9 私たちが人のあかしを受け入れるのであれば、神のあかしはそれよりも偉大です。神が御子についてなさったあかしこそ、神のあかしだからです。

10 神の御子を信じる人は、自分のうちにそのあかしを持っています。神を信じない人は、神を偽り者としています。神が御子についてなさったあかしを信じていないからです。

11 そのあかしとは、神が私たちに永遠の命を与えてくださり、この命が御子のうちにあるということです。

12 御子がおられる人には命があります。神の御子がおられない人には命がありません。

13 神の御子の名を信じるあなたがたに、私がこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠の命を持っていると知り、神の御子の名を信じ続けるためです。

14 私たちが神に対して持っている確信は、神のみこころに従って何かを願い求めるなら、神が聞いてくださるということです。

15 私たちが何を願い求めても神が聞いてくださると分かっているなら、神に願い求めたものを得ていることも分かります。

16 だれかが、自分の兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見たなら、その兄弟のために願い求めなさい。そうすれば神は、死に至らない罪を犯している人に命を与えてくださいます。死に至る罪もあります。その罪について願い求めるべきだとは言いません。

17 すべての不義は罪です。しかし、死に至らない罪もあります。

18 神から生まれた人はだれも罪を犯しません。神から生まれた方がその人を守るので、悪い者はその人に触れないことを、私たちは知っています。

19 私たちは神から出た者であり、全世界が悪い者の支配下にあることを知っています。

20 神の御子が来られ、真実な方を知るための悟りを私たちに与えてくださったことを、私たちは知っています。そして私たちは、真実な方のうちに、その御子イエス・キリストのうちにいます。この方こそ、まことの神であり、永遠の命です。

21 子どもたち、偶像から自分を守りなさい。

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-24

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 29 Jul 2026 from source files dated 24 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424